

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	秋田ノーザンハピネッツ株式会社
実習期間	平成 30年 3月 1日 ~ 平成 30年 3月 30日
学生氏名	吉田裕亜
実習プログラム	<p>★目標としては、インターン生の力でグッズ売上 500 万円を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none">□グッズ販売の PR(ファンクラブ会員限定)<ul style="list-style-type: none">・公式 Twitter アカウントで動画や画像の投稿・公式ブログの文章考案□物販の準備(ホームゲーム会場)<ul style="list-style-type: none">・POP、チラシの作成・運営方法の考案□物販の運営<ul style="list-style-type: none">・ファンクラブ会員限定グッズの販売・来場者への PR
学び・気づき (300 字程度)	<p>私が実習を始める前に身につけたいスキルとして、主に主体性、コミュニケーションスキルを挙げた。この 2 つは、話し合いの時にアイデアを出したり、社員の方やお客様とコミュニケーションを取れたので、1 か月を通して身についたと感じた。しかし、話を聞くことに精一杯になってしまいメモを取ることがあまりできなかった。</p> <p>私は今回の実習で、仕事のやりがいを学んだ。アルバイトでは、与えられた仕事をただこなすだけで、収入のための手段として行っている。しかし、今回は課題を与えられ、自分で考え、実行するというもので、自分の考えたものが評価される。そこで、社員の方やお客様に好評価をもらった時はやりがいを感じた。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>社員の方から、楽しんで仕事をすることも大事だが、商品や現金を扱う作業をする時は切り替えなければならないと指摘を受けた。また、1 ヶ月の間に販売した商品で在庫がでてしまった商品もあり、その反省として準備不足が挙げられたので、販売前の準備の時点で先を見据えたスケジュールリングをするべきだと思った。</p> <p>今回の反省を活かして、アルバイトでお客様の前では気持ちを切り替えて接すること、テストやレポートなど、準備が必要なことには余裕を持ったスケジュールで臨むことの二点を意識していきたい。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)

秋田ノーザンハピネッツ株式会社は主に、プロバスケットボールチームの運営、ホームゲームのアリーナ運営をする会社で、1つの興行ごとに全員でフィードバックをしているので、より良い運営を常に目指していることが分かった。その方法としては、一人ずつ、良かったところ、改善点の両方を書き出していくというものだ。全員の視点から反省ができるので効果的だと思った。

仕事をするうえで、悪かったところは指摘してもらえるので、社会人として必要な常識やマナーを学ぶことができた。

今回の実習では自分で考えて行う仕事が多かった。ただ与えられてこなす仕事ばかりなく、頭を使った仕事ができるので、考えるのが好きな私は楽しかった。

実習期間が1カ月のインターン生であるにもかかわらず、送別会まで開いてもらえることから、会社全体の暖かさを感じた。

写真 (1~3点)

